



福島医発第2806号(地)
平成28年 1月27日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会長 松 田 峻一良
(公 印 省 略)

中東呼吸器症候群（MER S）に関する注意喚起の徹底について

今般、標記の件につきまして、別添のとおり厚生労働省福岡検疫所より周知の協力依頼がありました。

本件は、中東諸国においては現在もMER S患者の発生が続いておりますが、中東諸国へ渡航された方の中に、MER S感染の主要な動物感染源と考えられるラクダと接触された方が福岡空港においても多数出ていることから、今後、中東方面へ渡航される方々に対する別添リーフレットの配布または掲示等について、及びラクダへの接触、接近を避けるなどの予防策についての注意喚起の徹底について依頼するものであります。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、貴会会員への周知方よろしくお願いいたします。

なお、別添リーフレットのとおり、MER Sが発生している中東諸国で、MER S患者やラクダと接触（※1）した方は、MER S感染の可能性があるため、到着地の検疫所が、帰国後最大14日間の健康監視（※2）を行う場合がありますことにつきましても、併せて周知いただきますようお願いいたします。

※1 ラクダと接触とは、ラクダに乗ることや加熱が不十分な肉や未殺菌乳を喫食すること。

※2 健康監視とは、検疫所に毎日2回電話等により体温等の健康状態を報告すること。



福検第010801号
平成28年1月8日

公益社団法人福岡県医師会
会長 松田 峻一良 様

厚生労働省福岡検疫所長



中東呼吸器症候群（MER S）に関する注意喚起の徹底について（協力依頼）

日頃より、検疫所業務についてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、中東諸国におけるMER Sにつきましては、関係者等に対する注意喚起の実施についてご協力いただき誠にありがとうございます。

中東諸国においては現在もMER S患者の発生が続いておりますが、中東諸国へ渡航された方の中に、MER S感染の主要な動物感染源と考えられるラクダと接触された方が福岡空港においても多数出ていることから、MER S感染の予防のためにこれを避ける必要があります。

このため大変お手数ではございますが関係者等に対し、中東方面へ渡航される方々に対する別添リーフレットの配布または掲示等に関してご協力、併せてラクダへの接触、接近を避けるなどの予防策についての注意喚起を徹底いただきますようお願い計らい願います。

なお、別添リーフレットにも記載しておりますが、MER Sが発生している中東諸国で、MER S患者やラクダと接触（※1）した方は、MER S感染の可能性があるため、到着地の検疫所が、帰国後最大14日間の健康監視（※2）を行う場合があることについても、併せてご周知いただきますようお願いいたします。

※1 ラクダと接触とは、ラクダに乗ることや加熱が不十分な肉や未殺菌乳を喫食すること。

※2 健康監視とは、検疫所に毎日2回電話等により体温等の健康状態を報告すること。

中東呼吸器症候群(MERS)

2016.1

《注意》 MERSが発生している中東諸国で、患者やラクダと接触した方は、感染の可能性があるため、検疫所が最大14日間の健康監視(※)を行う場合があります。

※健康監視とは、検疫所に毎日体温等の健康状態を報告することです。

【症状】

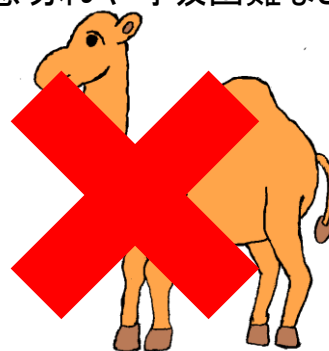
感染してから2～14日後に、呼吸器症状(発熱、咳、息切れや呼吸困難など)を引き起こします。感染しても症状が出ない場合もあります。

【治療】

特別な治療方法やワクチンはありません。

【予防対策】

- ・一般的な衛生対策として手洗いを行う。
- ・咳やくしゃみなどの症状を示している人との接触はできる限り避ける。



ラクダなど、動物との接触や、殺菌されていない乳や肉の喫食を避けましょう!!



【入国時に検疫所で】

発熱や咳などの呼吸器症状がある方や、ラクダ又はMERSが疑われる患者と接触した可能性がある方は、必ず、検疫官にお申し出ください。

【入国後症状が出たら】

入国後14日以内に、発熱や咳などの呼吸器症状がみられた方は、速やかに電話にて最寄りの保健所にご連絡ください。(直接医療機関に行かないでください。)

検疫所ホームページ FORTH

<http://www.forth.go.jp>



国立感染症研究所ホームページ

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/>